

明るい恵那

2017年11月125日
第1701号
日本共産党
恵那協議会
恵那市大井町735
電話 26-3603

市長と語るくまちづくり懇談会

市政の動きを市長が直接報告

6日笠置町「太陽光発電問題 地域から意見を」

市長が地域へ出かけ、市政の報告と市民から意見を聞く「まちづくり懇談会」が始まっています。今年から「市民から直接選ばれた市長が、主権者である市民に直接報告する」として、市の方からは市長、副市長とまちづくり関係の部長・課長だけが出席しています。

11月6日よる7時から笠置地区の懇談会が開かれ、若い主婦も含め50人ほどの市民が参加されました。

小坂喬峰市長は「1年前の今日は選挙告示の日でした」とあいさつの後、パワーポイント（画像）を使って、平成28年度出生児290人など恵那市が直面している「人口減少・少子化問題」や財政の現状や東濃5市との比較などグラフを使って目で見えるようにして説明されました。

はたらく、たべる、暮らす 対策説明

その対策として「はたらく」について、市内の工業団地の紹介、ビジネスサポートセンター開設、農業では増大する耕作放棄地に対して笠置山くり園や新規就農者の活動、そしてはたらくお母さんの拠点として「おさしま一葉こども園」「病児保育所」を紹介していました。

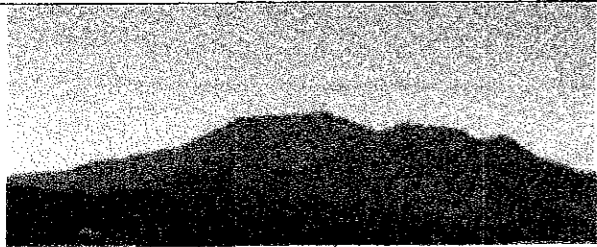
「たべる」については恵那の食文化の推進、粟きんとんや3カ所の道の駅の経済効果、特に山岡おばあちゃん駅には年間1千万円の出荷額をあげる農家が出現していることも紹介。笠置町で取り組む「ゆず」も紹介されていました。

「くらす」については、長島町正家第二区画整理事業で住宅用地として60戸が計画されていること、市立恵那病院が再整備されて充実したこと、リニア中央新幹線はいま一番の話題だが、「あと10年で開通と言うがそれまでに何ができるかが課題」と言われました。

人口の急激な減少を重大問題としてとらえ、懸命に各種の対策に取り組んでいる実態を市長本人から訊くことができました。

リニア送電線 地域の意見は事業者に伝えます

現在の笠置町の課題について、笠置峡ボートコースが大変評価されていること、クライミングには年間1万人程の入山者があることなど、（地域の宝を活かして地域で暮らし続けることのできる取組みのヒントとして）編集部）紹介されました。



笠置山

久須見地区に大規模な変電所を新設して木曾川を渡り笠置山中腹から蛭川・苗木經由する中部電力のリニア専用高圧線計画は地元合意が得られていません。この日も参加者からの指摘もありましたが、「市は中電の無理を聞けと言う立場ではない。地元が納得されることであり、恵那市は皆さんの意見は中電に伝えます」と明言されていました。

極端な少子化・人口減少 総合計画の見直しも

市民からの意見は事前に調整されていなかったようですが、地域の当面する問題が各種提起されました。

急激に進む人口減少について、「現状は分かっていたが今後についてどのような考えるのか」との厳しい指摘に対して市長は「総合計画450人となつてはいるが、見直しが必要である」と答えられていました。まちづくりの柱である目標値の見直しは大きな問題です。

救急体制の整備は

「いのちの格差」などとかねてから指摘され、小坂市長も公約に掲げていた笠置周地区（笠置、中野方、飯地3町）の救急体制整備について、その進捗についての質問に、特別に参加していた消防長は、「分署設置とまでは進んでいないが、来年度から出来ることはないか協議を進めている」と答弁されました。

最後に主催者である樋田一成地域自治区会長は挨拶で「市民の立場で対応すると言われた市長の気持ち伝わった会であった」とまとめました。

懇談会 今後の予定

11月9日 (木)	中野方町	中野方コミセン
11月14日 (火)	上矢作町	上矢作コミセン
11月16日 (木)	午後7時	長島町 恵那文化センター
11月24日 (金)	午後7時	串原 串原サンホール
11月27日 (月)	午後7時	岩村町 岩村コミセン
11月30日 (木)	午後7時	三郷町 三郷コミセン
12月5日 (火)	午後7時	大井町 消防防災センター
12月7日 (木)	午後7時	明智町 明智文化センター
12月15日 (金)	午後7時	東野 東野コミセン

残土運搬の騒音、粉塵など不安

10月29日中津川市福岡で開かれた中川武夫中京大学名誉教授の講演会が聞かれました。リニア残土を運ぶダンプによるpm2.5など粉じんや騒音などについて、JR東海の環境影響評価書には土砂運搬には記載されておらず、騒音、振動、排気ガス、粉じんなどその影響が不安です。恵那市では長島町永田の交差点にダンプ車両が集中する計画ですが、ここは特に学校やこども園に近く、通学だけでなく健康被害が心配です。



福岡区民会館

（裏面に10月31日の議会リニア特別委員会勉強会で公開された「JR東海の残土運搬予定地域の説明会で地域から出された意見」を紹介します。）

3. 地域の意見

(1) ルートについて

【意見】

- ・このルート案で、通行する上で問題となる箇所、その問題の解決策の明示
- ・地元としては、問題箇所、解決策も含めたさらなる説明が必要
- ・騒音値、交通量など、データを示して納得できるような説明が必要
- ・恵那峡方面の観光地、恵那病院方面の関係地域に説明が必要
- ・リニアルートに関係なく、広範囲に影響があるように受け止める
- ・岩村地内は、岩村ゴルフ場への道路をルートとしたらどうか。アップダウンは多いが民家は数件

【課題】

- ・ルート選定にあたり数値等データを基にし、問題箇所、解決策の提示
- ・地域意見に対して最善なルート案は何かを検討が必要
- ・ルート案に関係する地域への対応

(2) 安全対策について

【意見】

- ・通学路となっている道路の安全対策が必要
- ・長島町久須見の市道早層洞新田線は、通学路のため歩道設置、S字部の改良を望む
- ・発生土運搬時には、施工業者が決まり次第、JR東海から安全指導を願う
- ・岩村町から阿木川大橋を越えてすぐのT字交差点は見通しの面で危険箇所
- ・県道久保原阿木線は通学路があり、子どもの安全対策が必要である。運搬車両の通行では注意喚起をしっかりと行うこと
- ・国道418号三郷地内にカーブが急な箇所があり、事前の改修を望む

【課題】

- ・通学路の安全確保
- ・発生土運搬車両の増加に伴う新たに交通上危惧される箇所の問題解決
- ・運搬車両の運転者への安全教育

(3) 交通に係る混雑について

【意見】

- ・恵那峡方面の観光地ルートは、行楽シーズンの観光客に影響があるため、配慮が必要
- ・国道19号長島町永田ランプは今でも交通混雑しており、何らかの対策を望む

【課題】

- ・恵那峡方面の観光地ルートへの配慮と対策
- ・国道19号長島町永田ランプの混雑状況に応じた配慮と対策

(4) 建設発生土運搬車両の運行時間について

【意見】

- ・運搬時間は通学時間に配慮した時間を求める
- ・運搬開始時間前に発生土を運び出す箇所にダンプが集合するのは時間前に通行することになり住民は困る
- ・恵那テクノパーク地区は、今でも通勤等時間帯の混雑があるため配慮が必要

【課題】

- ・運搬時間が通学時間帯、通勤時間帯と重なる箇所は、配慮が必要
- ・時間帯別や時期別など、運搬時間、運搬台数等を制限するなど検討が必要

(5) その他

【意見】

- ・一箇所にルートを集中させず、その地域の環境負荷を少なくするために往路復路を別ルートにする現在の案は、かえって影響地域を増やしている
- ・JR東海のルートに関する基本的方針の明示を望む。事業主体はJR東海であり、事業者の責任として、もっと方針を示すべき
- ・現状の発生土活用候補地18箇所だけでなく、恵那市の北部地域にも発生土活用候補地の検討を望む
- ・運搬車両が通行することによる道路の損傷に対して、影響がないように対応を求める
- ・登下校時の安全に対して小中高、及び教育委員会との協議が必要
- ・リニア事業についてJR東海から地域への説明が不足しており、もっと情報提供を望む

【課題】

- ・事業者であるJR東海の地域への対応
- ・道路損傷に関する協議と対応策の検討
- ・リニア事業に関する情報提供の頻度

4. 今後の進め方

(1) 意見の集約

(2) 課題、問題点等の整理

(3) 事業者 JR東海へ問題提起、事業者責任としての改善策の検討

■ JR東海の建設発生土運搬ルート案説明

・ 今回の地域説明

・ 工事説明会時説明

(4) 問題改善に向け事業者としての取り組みの継続